



岡 津

平成30年度のキーワード

「つなぐ^{×3} そして、もっとその先へ・・・」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>



学校だより 10月号
平成30年9月28日
横浜市立岡津小学校
校長 小竹 護
TEL 811-4104
FAX 812-4586

グランドスラム

学校長 小竹 護



全米オープン^{ぜんべい}は、アメリカ・ニューヨーク市郊外^{しこうがい}にあるフラッシング・メドウ^{ユーエスティーエー}のUSTAナショナル・テニス・センター^{かいじょう}を会場^{まいとし}として、毎年8月の最終月曜日^{しゅうげつようび}から2週間の日程^{しゅうかん}で行われるテニスの四大国際大会^{おこな}の一つです。1881年から始まり^{ねん}、歴史^{はじ}と伝統^{れきし}のある大会^{でんとう}であるとともに、観客動員数^{いんさう}や賞金総額^{しょうきんそうがく}もテニス競技大会^{きょうぎたいかい}で最大^{さいだい}です。今年^{ことし}の大会^{たいかい}は、女子^{じょし}

の部^ぶで「大坂なおみ^{おおさか}」選手^{せんしゅ}が日本人^{にほんじん}として初めて優勝^{はじ}しました。パワフルなプレーとともに、インタビューでの受け答え^うにも話題^{わだい}が集まりました。日本人^{にほんじん}の技術^{ぎじゆつ}と体力^{たいりよく}、メンタル面^{めん}で優勝者^{ゆうしょうしゃ}は100年先^{ねんさき}になると言われてきましたが、とうとうその門^{もん}を開ける人^{ひと}がでてきました。今後は、東京オリンピック金メダル^{こんご}、世界ランキング1位^{せかい}とグランドスラム制覇^{せい}が期待^{きたい}されています。

さて、グランドスラムという言葉^{ことば}がありますが、英語^{えいご}の「Grand Slam」^{グランド スラム}からです。もともとはトランプのコントラクトブリッジというゲーム^だで、出されたカード^{ぜんぶ}を全部^かとって勝つこと^{せいこう}です。ちなみに前半^{ぜんはん}の「Grand」とは、最高^{さいこう}、壮大^{そうだい}、雄大^{ゆうだい}、偉大^{いだい}な、堂々^{どうどう}とした、といった意味^{いみ}で、後半^{こうはん}の「Slam」とは、窓^{まど}を乱暴^{らんぼう}に閉める、押し付ける、ボールを打つ^う、楽勝^{らくしょう}する、という意味^{いみ}があるそうです。ここから「勝利を独占する」「圧倒的な勝利」という意味^{いみ}が生まれ、テニスやゴルフの四大大会【テニスでは、全豪オープン^{ぜんごう}、全仏オープン^{ぜんぶつ}、ウインブルドン(全英オープン)^{ぜんべい}と全米オープン^{ぜんべい}】を続けて制覇^{せい}することをさし、主要な大会^{しゅよう}の全て^{たいかい}を優勝^{すべ}する、といった意味^{いみ}になります。野球^{やきゅう}では、満塁ホームラン^{まんるい}、ゲームの世界^{せかい}では、完勝^{かんしょう}といった意味^{いみ}でも使われているそうです。

でも、「千里の道も一歩から」というように、どんなに大きな仕事^{おお}でも、身近なことから始め^{しごと}、少しずつ積み重ね^{みちか}、努力^{すこ}してゆくことが大切です。初めの一歩^{かき}は誰でも始められますが、次の一歩^{どりよく}、また、次の一歩^{たいせつ}と、常に(毎日)^{つね}、少しずつでも、積み重ね^{まいにち}てゆかなければ、目的^つを達成^{かさ}できません。子どもたちには、基礎・基本^{もとてき たっせい}をしっかりと学び^こ、途中であきらめることなく、長く続けること^{きそ}の大切さ^きを知ってほしいと思います。ほん